

7) 塗膜成分分析調査

試験部位	既存塗膜 平均膜厚 (μm)	試験 区画面積 (m^2)	はく離剤 塗布量 (g)	m^2 当りの はく離剤 の塗布量 (kg/m^2)	塗膜回収 重量 (g)	m^2 当りの 塗膜回収 重量 (g/m^2)
主桁	388	0.25	250	1.00	180	720

試験区画面積： $0.5\text{m} \times 0.5\text{m} = 0.25\text{m}^2$ 

分析の結果、鉛が $170,000\text{mg}/\text{kg}$ が確認されたことから、下塗りに鉛系の塗装剤が使用されていたと考えられる。その撤去にあたっては、基安労発 0530 第 1 号、基安化発 0530 第 1 号「鉛等有害物を含む塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」に適した作業を実施することが必要である。

また、総クロムの含有量は $1,600\text{mg}/\text{kg}$ 超であり、鉛含有量およびクロム含有量のいずれも基準値を超えており、特別管理産業廃棄物に該当するという結果となった。

表 4.3 塗膜調査（含有量試験）結果

有害物種別	測定分析結果	判定	備考
鉛	$170000\text{mg}/\text{kg}$ (17%)	鉛含有量 0.06%以下 クロム含有量 0.03%以下	定量下限値 $600\text{mg}/\text{kg}$
総クロム	$1600\text{mg}/\text{kg}$ (0.16%)	1 項目でも超えると特別管理産業 廃棄物として取り扱う	定量下限値 $300\text{mg}/\text{kg}$

※ $1\text{mg}/\text{kg} = 1\text{PPM}$ 、 $1\% = 10000\text{PPM}$

No.1- 1547285

日光土木事務所

様

平成理研株式会社

環境科学センター

〒321-0912 栃木県宇都宮市石井町2856-3

TEL 028 (660) 1700 (代)

計量証明事業登録（栃木県）登録番号

濃 度第173号

音圧レベル第175号

振動加速度ペル第0192号

環境計量士 小野澤益典

貴殿御依頼による試料の分析（測定）の結果を次の通り報告します。

[illegible]

備考：業務名：橋梁定期点検業務委託 黒部西川線外その55（道路メンテ）
 履行場所：栃木県 日光市
 採取業者及び依頼者名：株式会社シー・アイ・エス